

北区認知症フレンドリーコミュニティ通信

北区では、認知症になってもそれまでの暮らしが尊重され、これまでどおり暮らしていけるまち「認知症フレンドリーコミュニティ」をめざした取組みをすすめています。

北区の認知症フレンドリーコミュニティづくりの活動について情報発信します。

Vol.14

北区認知症フレンドリーセミナー 「**認知症になってもはたらく!!**」を 開催しました!



認知症 ξっても はたらく!!

8月18日(金)に令和5年度第1回アイデアミーティング

「認知症になってもはたらく!!」を開催しました。全国の事例などから「社会参加」の意義や、今後<mark>の北区</mark> の取組みについて考えました。介護事業所、企業、認知症本人、認知症サポーター等41人が集まり、フリー トークも大変前向きな話し合いになりました。

第1部 基調講演

今なぜ「社会参加活動」が必要なのか 講師:株式会社DFCパートナーズ

徳田 雄人 氏

第2部 フリートーク

北区認知症フレンドリーコミュニティー「社会参加」モデル事業実践に向けて一

SERVICE OF SERVICE OF

「働く≠はたらく」という ことを問い直すことが 非常に新鮮だった。 (感想/認知症サポーター)

フリートークにて所属や年齢、立場の 違う方々と、何をどのように考えてい るかを共有することができ、貴重な機 会になった。(感想/学生)

第2部フリートークの様子

今の支援は本当に本人のため? やってみたいが心配。 何から始める?

(質問/介護事業所)



地域交流することでその人自身 が輝けるので、どう地域で一緒 に生活できるか、はたらけるか を考えるきっかけとなった。 (感想/企業)

「はたらく」実際の現場を見学してみたい (感想/本人)



当日のグラフィックレコーディング





